

虹のかけはし再オープン 虹のかけはし

11月1日(火) 植田駅前にあった虹のかけはしはビルが被災した為、小名浜に移転し、日本財団様の助成金を受け、再オープンを迎える事が出来ました。震災後、利用者の通勤出来る場がなくなり、天真庵を間借りする形での作業やローテーションでの出勤等、沢山の不便をおかけしてきた不安定な日々を振り返ると、『虹のかけはし』という場所が再びオープン出来、利用者が出勤出来る場が出来た事を心より嬉しく思っております。



移転にあたっては、植田地区の利用者が多く通勤されており今後の通勤への不安の声、長年植田町でお世話になった

方々との別れ等、文面では表せない程の沢山の複雑な想いがありました。しかし、一日でも早く利用者が落ち着いて通勤出来る場所を作る事が、そして小名浜に移転しても今までと変わらない『虹のかけはし』で居続ける事が、私達職員の使命であると感じております。

通常通り出勤出来る場がある事、そして通常通り作業が出来ることがある事は、決して当たり前ではなく本当は一番難しいという事を、震災から虹のかけはしが再オープンするにあたって深く感じました。出勤出来る場がある事・利用者支援が出来る事、決して当たり前ではない幸せを心に刻みながら、『虹のかけはし』を皆の力でよりよい施設にしていこうと感じました。

虹のかけはし再オープンに際しましては、日本財団様の助成事業(被災した障害者支援施設(就労継続B)の復旧)により助成金を頂き、建物等がより利用し易く整備され、物品も揃い、環境を整える事が出来ました。紙面をお借りして、御礼申し上げます。ありがとうございました。

通所事業部合同クリスマス忘年会(保護者との懇談会) 虹のかけはし・ワークセンターしおさい・天真庵

12月16日(金)、植田駅前「ホテルアクセス」にて、通所事業部合同クリスマス忘年会(保護者との懇談会)が行なわれました。

東日本大震災後、初の保護者との懇談会となりました。震災では、皆様がそれぞれの場所で大きな被害を受け、一時は事業も再開できるのかという不安もありました。しかし、皆で大変な状況を乗り越え、利用者・保護者・職員が共に話せる場所を持つことができ、とても有意義な会となりました。

利用者の方々は、美味しい料理や飲み物を満喫し、とても満足な様子でした。また、以前より「カラオケの時間が沢山欲しい」との要望があり、今回は長い時間、カラオケを楽しみました。歌に合わせてタンバリンを叩く方やダンスをする方もいて、

大変にぎやかなカラオケ大会となりました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は震災に負けずに「頑張ろう！」三唱で幕を閉じました。利用者からは「まだまだ歌い足りない。」との声が沢山聞かれました。それにつきましては、この次のお楽しみとさせていただきますね。



植田歩行者天国 虹のかけはし

10月10日(月)、植田歩行者天国に出店しました。私たちの作業所は、東日本大震災の影響を受け休所・改修・移転を余儀なくされており、5月の歩行者天国には出店することが出来ませんでした。当日は大雨での開催となりましたが、久しぶりの販売行事ということもあり、利用者の方々は皆元気に自分たちが心を込

めて作った商品を宣伝し、笑顔で接客をしていました。また、顔なじみのお客様や休所・移転を知ったお客様から、たくさんの応援の言葉を掛けて頂き、大変嬉しく、心強く感じています。これからも地域の方々に愛される作業所、商品を作っていきたいと強く感じた一日となりました。

忘年会 やしおみ荘

12月15日(木)、当荘体育館で忘年会が行われました。今年一年は3月の東日本大震災や東京電力福島第一発電所事故などがあり、忘れられない年となりました。そのような中で今年も怪我なく、無事に一年を終える喜びを利用者・職員共々いつも以上に感じていました。

カラオケでは各棟4グループに分かれ、それぞれに自慢の歌声を披露して頂きました。始めはマイクを渡されても「みんなの前では…」と遠慮してしまう方もいましたが、一度マイク

を握れば、心を込めて歌っていました。その姿ほどの歌手の方にも負けない程に力強く、可憐でした。利用者の間にも、「歌上手だね。」との会話も聞かれ、照れた表情の中に笑顔も見られました。

その後の会食では、「カンパニー。」と来年が良き年となるよう願いを込めて乾杯し、美味しい料理に自然と表情もほころんでいました。

来年もみんなが健康に過ごせますように。